

やくみつるさん

Profile



1959年、世田谷区桜新町生まれ・新町在住。早稲田大学商学部卒。1981年漫画家としてデビュー。スポーツ、政治、時事ネタなどの四コマ漫画やイラストを手掛けている。現在はエッセイスト、コメンテーターやパネラーとしてテレビ・ラジオ番組でマルチに活躍中。好角家、珍品コレクターとしても有名。昆虫好きで、日本昆虫協会の副会長にも

行き先は主にアフリカや南米。クレーターの中で動物が暮らしている世界最大の動物園と言われる場所、タンザニアのンゴロンゴロ・クレーターの話では、「それはもう圧巻なんですよ」と嬉しそう。そんな旅先でのもうひとつのお楽しみは、コレクターとしても名を馳せるやくさんならではの。「その国でしか買えないものとか、お宝がいつばいありますからね、買いまくりです」。ある旅では、トラックの半分をコレクション用に購入したトレットペーパーが占めてしまった、というユーモラスなエピソードも教えてくれました。家に帰って戦利品を眺めるのがまた楽しいらしい。

やくさんは、生まれも育ちも桜新町。世田谷の魅力を「住んでこそ良さがわかる街です」と言います。「都心への距離感が程よく、都会に近いのに都会感がありません。商店街が充実している地域のコミュニケーションが盛んなのもいいです。こんなに長く住んでいてもまだまだ知らない場所や行ったことのない店もたくさんありますね。世田谷は広くて

世田谷は住んでこそ良さがわかる街

奥が深い」。今注目している場所は「裏二子や烏山あたりかな」。区内の移動手段はもっぱら歩き。歩いているからこそ発見があつておもしろい。例えば、子どものころから筋金入りの虫好きのやくさんにとっては「都会に虫がいなくなった、なんてことはないんです。今でも世田谷には虫が多くて、虫との出会いにはワクワクしますよ」。

クイズ番組で見る博学ぶり。知識の多くは新聞や雑誌、テレビなどから。インプットした知識は人に話したり、ノートに書いてアウトプットすることで自分のものにしていく。これがやくさん流の勉強法。「固有名詞なんかもね、人に話すと忘れなくなるから」。仕事も趣味も自然体、しかも尽きることはない好奇心がエネルギー

インタビューを終えて

夏らしいブルーのジャケットが大変お似合いました。「奥さまのセレクトですか？」とお聞きすると、プライベートで身に着けるものは全てご自身で選び、コーディネートされるとのこと。洋服にもこだわりをお持ちのようです。世田谷は基本、歩いて散策しているというやくさんは、靴も素敵でした。(幡本)



ギー。「実は冒険できない性格なんです。でも求められるなら、この先ずっと生涯現役で働いていたいです」